

登録番号 13 - 012
氏名 小野 千佐子

登録番号 16 - 009
氏名 下山 陽介

大阪市地域公共人材活動報告書

記

1. 派遣日時 令和4年2月22日（火）19:30～21:30
(第2回派遣)
2. 派遣場所 えほん picnic 実行委員会
3. 参加人数 11名（内訳：依頼団体8名、公共人材2名、大阪市市民局1名）
4. 開催方法 コロナ禍における対応として、オンライン（Zoom使用）にて実施
5. 活動内容

(1) 派遣内容

鶴公園で開催している地域住民の交流イベント（えほん picnic）では平成30年に地域公共人材の協力によりイベント10周年に向けた中期目標を策定した。その後3年が経過し、メンバーは入れ替わり、10周年のイベントをやり終えることができたため、改めて中期目標の策定を支援していただきたい。メンバーと共にえほん picnic が目指すべき方向性を考えることで、認識を共有し、モチベーションにつなげていきたい。

(2) 支援内容

中期目標の策定にあたり、各メンバーの心情や想いと地続きのアウトプットが出来るよう今後へ向けた思惑や理想とする団体の姿などの共有を図った。主なテーマ、内容は以下の通り。

1. コロナ禍で諦めたが、終息したらやりたいことは？
 - ・消毒や飛沫を気にせずもっと大きなイベントにしたい。
 - ・多くの企画やたくさんの出店を促したい。
 - ・来場者が自己表現出来る場を増やしたい。
 - ・非接触ではないコミュニケーションを拡げたい。
 - ・海外へ進出したい。

など

2. 遠い将来の理想像

- ・いろんな世代の意見を吸収して全世代が企画に関わるようにしたい。
特に子どもの意見やアイデアを取り入れる仕組みを作りたい。
- ・もっと巻き込んでいって人と人の繋がりの場を促進したい。
- ・小さなイベントやサプライズなどを開催して、えほん picnic を知るきっかけをもっとたくさん作りたい。
- ・今後避けられない電子化の流れに少しづつ対応していきたい。
- ・保有コンテンツ、コンセプトをパッケージ化（フランチャイズ化）して全国的にイベントを展開したい。

など

(3) 今後の派遣計画

3月8日（火）

中期目標の言語化、目標策定
3月 22日（火）
中期目標の具体化、個人目標への落とし込み

所感

活動に共感して参加している大学生たちにとっては、コロナ禍での活動制限は残念でならないと思います。それでも関わり続けるのは、実行委員メンバーとの良好な関係があり、夢を語れるからなのではないだろうか。次回は目標を具体的に言語化していくため、これまで以上にメンバーの発言を大切にしていきたい。

所感

本支援によって各メンバーが思う今後のイベントの姿や取り組んでみたいことなどの共有が図れた。自発的にたくさんの意見が出てくる団体ではあるため、少しづつ整理をしながら進めていくことで目線を合わせたディスカッション、合意形成がなされていくよう進めていく。